

## 特別講演 2

### 「子どもの発熱の診かた」

福井県済生会病院 副院長／小児科部長／地域医療連携室長

加藤 英治 先生

小児のプライマリケアで発熱は最も多い主訴で、発熱のほとんどの原因は感染症である。発熱児の診療は感染症の鑑別診断といっても過言ではない。この講演では発熱から短時間で受診する急性発熱児に対する診断アプローチをテーマにする。

1. 抗菌薬適正使用の為に細菌感染症とウイルス感染症を鑑別すること、2. 入院の是非を判断する為に緊急性や重症の見極めること、3. 重症細菌感染症を見落とさない為に感染部位の正確に診断することを発熱児診察の3原則にしている。

発熱のスクリーニング検査の3点セットは、白血球数、CRP 値、尿一般・沈渣で、近年、病原体迅速検査が加わり、短時間の外来診療でも精度の高い診断を行えるようになってきている。

急性発熱に対する私のアプローチ（図）を、症例を挙げて具体的、実践的に説明する予定である。

